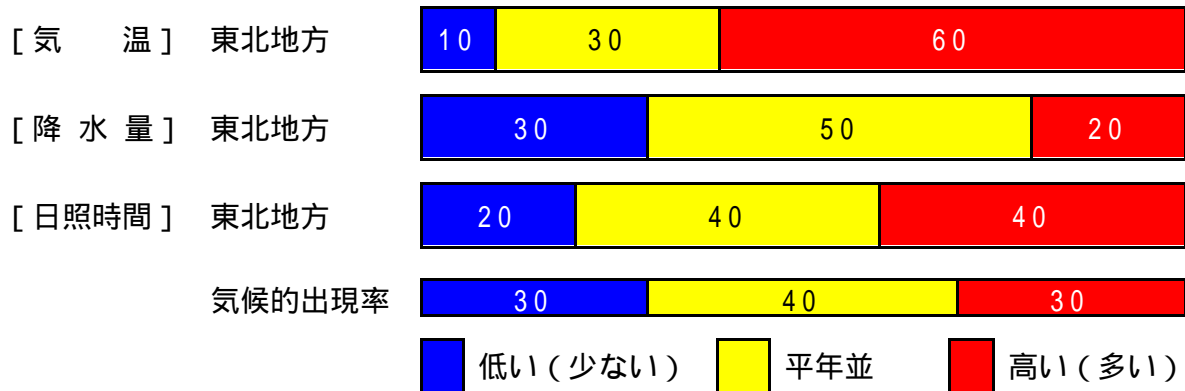


東北地方 1 か月予報の解説（予報期間：6 月 17 日～7 月 16 日）

平成 12 年 6 月 16 日 仙台管区气象台

1．向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）



[気 温]: 東北地方は「高い」の可能性が最も大きく、その確率は 60％です。次に大きい確率は「平年並」で、その確率は 30％です。「低い」の可能性は 10％と小さい。

[降 水 量]: 東北地方は「平年並」の可能性が最も大きく、その確率は 50％です。次に大きい可能性は「少ない」で、その確率は 30％です。「多い」の可能性は 20％と小さい。

[日照時間]: 東北地方は「平年並」か「多い」の可能性が大きく、その確率はそれぞれ 40％です。「少ない」の可能性は 20％と小さい。

2．予想される天候の特徴

（もっとも高い確率の予報が実現した場合の天候は以下の通りです。）

向こう 1 か月

東北地方は、前半は梅雨前線の影響でぐずつく時期がありますが、後半は梅雨前線の活動が弱く、天気は周期的に変わるでしょう。平年に比べ晴れの日が多い見込みです。

平均気温は高いでしょう。

平年の晴れ日数は、東北地方で約 13 日です。

各予報期間の天候の特徴

1 週目…………… 東北北部は天気は周期的に変わるでしょう。東北南部は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多いでしょう。

平均気温は平年並の見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 3 日です。

2 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変わるでしょう。平年に比べ晴れる日が多いでしょう。

平均気温は高い見込みです。

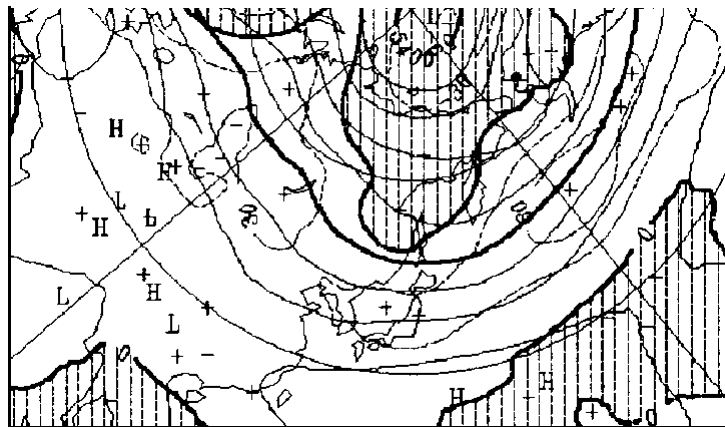
平年の晴れ日数は東北地方で約 3 日です。

3～4 週目…………… 低気圧と高気圧が交互に通り、天気は周期的に変わるでしょう。平年に比べ晴れる日が多いでしょう。

平均気温は高い見込みです。

平年の晴れ日数は東北地方で約 5 日です。

予想される天候に関する循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

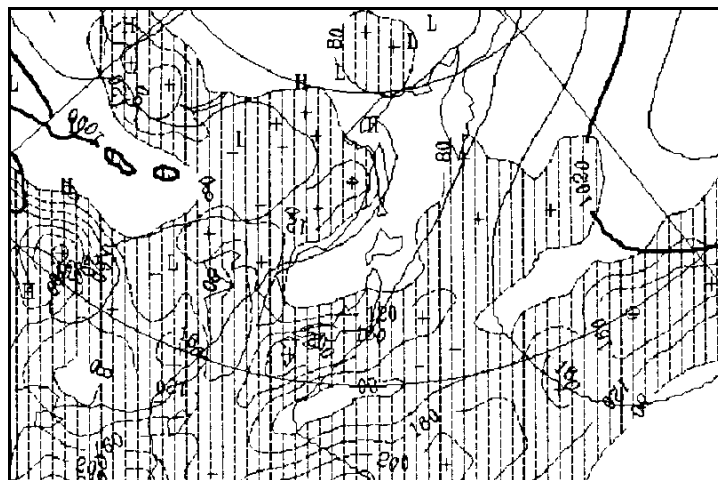


月平均の 500hPa 高度・偏差
（等高線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差）

・ 500hPa 高度・偏差

月平均でみると、極東域は広く正偏差で、東北地方は東海上に中心を持つ強い正偏差に覆われる。シベリア付近は負偏差で、オホーツク高気圧の発生は予想されていない。また日本の南にある太平洋高気圧も平年より強い。

週別（図略）では、1 週目は北海道からサハリン付近は負偏差、東北以南は正偏差。2 週目は日本の南で太平洋高気圧が西に勢力を強めるが、北日本は弱い西谷。3~4 週目には、日本の南の太平洋高気圧の勢力は弱まるが、日本付近は弱い気圧の尾根となり前線の活動は弱い見込み。



月平均の地上気圧と降水量
（等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上）

・ 地上気圧と降水量

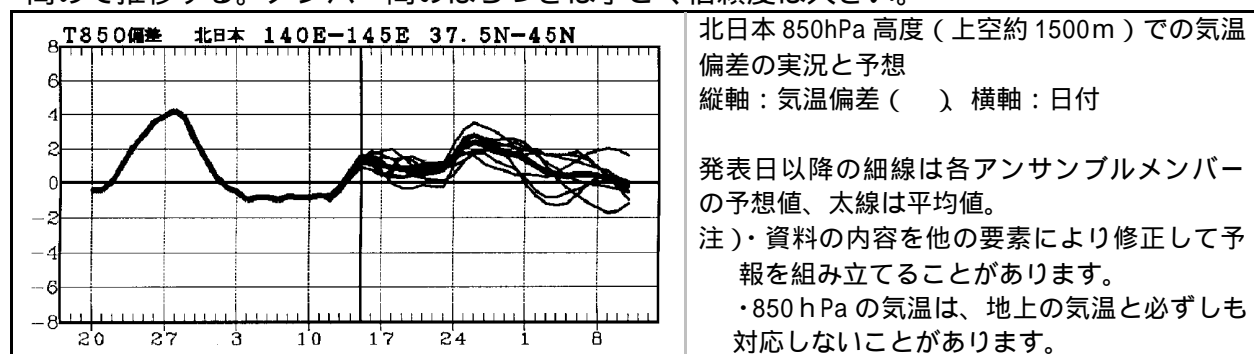
月平均でみると、日本の南には太平洋高気圧が張り出している。一方、中国東北区は低圧部となっている。

降水域は、梅雨前線に対応した本州南岸沿いと沿海州からバイカル湖方面に伸びるものがある。

週別（図略）では、1 週目は日本の南岸に梅雨前線対応の降水域が東西に伸びるが、東北地方にまとまったものはかからない。2 週目は太平洋高気圧が西へ勢力を強める。降水の中心は本州南岸だが、降水域は東北地方まで北上する。3~4 週目は、日本の東海上に中心を持つ高気圧の軸が本州の南岸沿いに伸び、日本付近の前線活動は不活発。

3．北日本 850hPa の気温平年差の実況と各アンサンプルメンバーの予想

北日本 850hPa の気温平年差は、アンサンプルメンバーの平均でみると、平年並か平年より高めで推移する。メンバー間のばらつきは小さく信頼度は大きい。



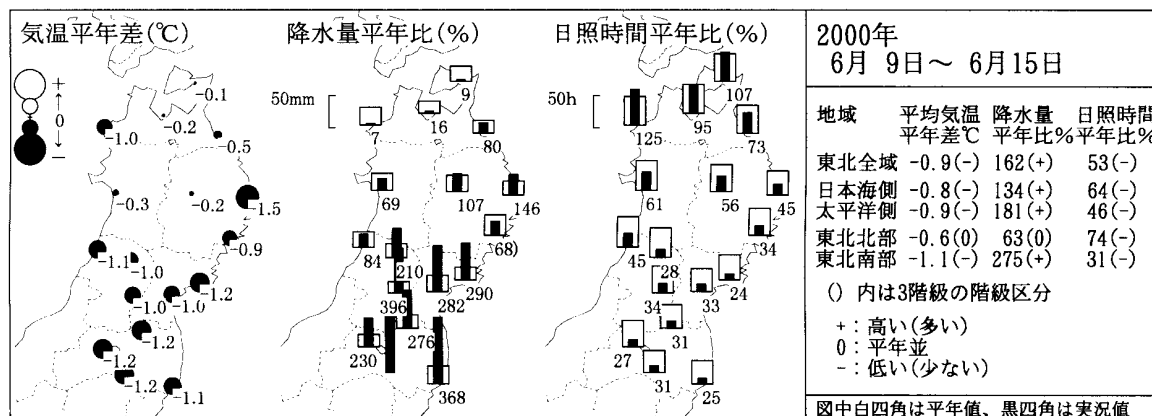
注：1 か月予報では、よく似た初期値から出発した 10 個の数値予報結果のパラッキ具合から予報の信頼度や確率を計算します（この手法をアンサンプル予報といい、10 個の予報結果のそれぞれをアンサンプルメンバーといいます）。一般に予報結果がばらつかないほど、大気の流れが予測しやすい状態にあると考えられます。このような状態の時は、信頼度が高くなり、確率の大きな予報を出すことができます。

4．最近 1 週間（6 月 9 日～6 月 15 日）の天候の経過

この期間、東北南部は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。東北北部は 9 日と 14 日は低気圧の影響で雨となったが、その他の日は概ね晴れた。

なお、東北北部では 5 月中旬頃から少雨傾向が続いている。

平均気温は、東北北部で平年差 -0.6 と平年並、東北南部で平年差 -1.1 と平年より低かった。降水量は、東北北部で平年比 63%と平年並、東北南部で平年比 275%と平年より多かった。日照時間は、東北北部で平年比 74%、東北南部で平年比 31%とともに平年より少なかった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）

5．梅雨入りについて

東北南部は 6 月 11 日頃梅雨入りしたと見られると発表した。

	平年の梅雨入り	昨年の梅雨入り	平年の梅雨明け	昨年の梅雨明け
東北南部	6 月 12 日頃	6 月 16 日頃	7 月 23 日頃	7 月 24 日頃
東北北部	6 月 14 日頃	6 月 16 日頃	7 月 26 日頃	7 月 26 日頃